

自然公園の利用のあり方と管理方針

< 主要施策の取組状況 >

1 登山道等の施設維持管理と協働実施

- ・登山道施設の状況を把握した上で、5路線（表尾根線、戸川三ノ塔線、丹沢主稜線、東海自然歩道、首都圏自然歩道）について登山道整備を実施した。
- ・みろく山の会（大倉尾根線）、丹沢山小屋組合（二俣鍋割線・鍋割山稜線）と協働による登山道補修を実施した。また、新たに神奈川県自然公園指導員連絡会との下社大山線における登山道補修協定を締結した。
- ・丹沢ボラネットによる登山者数調査、水場の水質調査を継続実施し、公園利用実態の把握を行うことができた。
- ・花立山荘の環境配慮型公衆便所の設置費に対し補助するとともに、パークレンジャーによるトイレ紙持ち帰りキャンペーンを実施し、山でのトイレマナーの普及啓発が促進された。

2 かながわパークレンジャーや神奈川県自然公園指導員による活動

- ・パークレンジャー、自然公園指導員による巡視活動及び登山道補修隊による整備活動等を実施し、公園利用に関する普及啓発が促進された。

3 神奈川県立ビジターセンター等普及啓発施設の活動

- ・ビジターセンターにおいて、自然再生等に関する展示や自然教室等を実施した（ビジターセンターの維持管理を委託）。

4 自然公園における利用のあり方と管理方針

- ・自然環境保全センター内の自然公園の利用と管理方針の検討ワーキンググループの中で、自然公園の利用のあり方等について検討を行った。

○ 登山道施設維持管理等実施状況（平成 25 年度）

登山道整備	団体との協働による補修
5 路線	2 団体と協働で 3 路線について補修活動実施 新たに 1 団体と補修協定を締結

登山道整備状況（丹沢主稜線）：施工前



登山道整備状況（丹沢主稜線）：施工後



活動団体との協働による登山道補修実施状況



活動団体による登山者数調査実施状況



- 自然公園の利用のあり方と管理方針に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

